

2020年7月29日

各 位

広島市安佐南区祇園3丁目28番14号
株式会社アスカネット
代表取締役社長 松尾 雄司

第25回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨について

2020年7月29日に開催いたしました第25回定時株主総会および懇談会の質疑応答要旨をお知らせいたします。株主総会及びその後の懇談会を合わせまして、以下のとおり、10名の株主様から15件のご質問・ご提言をいただき、役員一同が回答いたしました。

（質問要旨）福田会長への役員退職慰労金の金額の根拠を教えてください。

（回答要旨）当社の役員退職慰労金制度は既得権的に金額が確定したものではなく、会社の内規で定めた上限額内で会社の経営環境や業績等を考慮して決定する仕組みとなっております。会社の設立来25年に渡る代表取締役としての実績は非常に大きなものがありますが、ご本人から上限金額を下回る金額での申し出があり、取締役会で協議したうえ、当該金額にて株主総会に上程したものであります。

（質問要旨）役員退職慰労金内規の上限額を教えてください。

（回答要旨）役員退職慰労金内規の上限額を示すことは控えさせていただきたいと思っております。

（質問要旨）福田会長の持っている株式を通しての経営権を、どのように継承していくつもりなのでしょうか。

（回答要旨）私（福田）の株式はそのまま保有するつもりあり、これから会社の経営自体に口出しをするつもりはありません。誰かに譲るようなことは現時点では考えておりません。

(質問要旨) ASKA3D プレートはまだ一般に知られていないと思うのですが、メディア等への広報活動をしっかりと行っていただきたいです。

(回答要旨) 新型コロナ感染拡大の環境下で、非接触操作が大きな関心を集めております。我々が積極的にテレビメディア等に広報活動を行った結果、多くの情報番組や新聞等に取り上げていただいております。今後も設置案件や新製品等新しい動きがありましたら広報活動を行ってまいります。

(質問要旨) 現預金が 19 億あり、かつ無借金のようなのですが、設備投資等資金の使途は考えられているのでしょうか。

(回答要旨) 今回の新型コロナウイルス感染拡大のような大きな経営環境の変化の中では、一定程度のキャッシュを持つ安定性は必要であると認識しております。また、将来のことなので、確定的なことは申し上げられませんが、例えば、エアリアルイメージング事業の技術開発センターの規模拡大や有力なスタートアップ・ベンチャー企業との資本提携などの使途があると思っております。資金を持っていると将来の意思決定の選択肢が広がるという効果もありますので、ご理解いただければと存じます。

(質問要旨) 現在の株価について見る人によって評価はいろいろとあると思いますが、過去には現在の倍近くの株価の時もあったと記憶しています。株価を上げていくには空中ディスプレイの事業拡大が不可欠だと考えています。今後のエアリアルイメージング事業の拡大についてどのように考えられているかお聞きしたいです。

(回答要旨) エアリアルイメージング事業自体、当社としても重きを置いております。現在の新型コロナウイルス感染拡大の環境下でも、多くのお問い合わせをいただいております。ガラス製プレートについては、自社製造を強化することによって海外を含めたサイネージ用途に供給してまいります。樹脂製プレートについては、サンプル販売によって製品化の研究をしている企業が多くあります。その中には 3~5 年のスパンで研究開発しているケースも多くあります。プレートに組み込んだ新製品を作るには、時間を要するのが現状ではありますが、プレートの有望な用途が絞れておりますので、そこを集中的に私(松尾)も含めて営業活動を進めてまいりたいと思います。

(質問要旨) 株主構成を見るに、大口の機関投資家がないのが問題だと思うのですが、そのあたりどのようにお考えでしょうか。

(回答要旨) 株の取得については、各機関投資家の個々の判断になると思うのですが、決算説明会や1on1 ミーティングを通して現在も多く機関投資家と対話しております。PER 等から買いにくいという判断があるかと思いますが、買うタイミングを計る上でも継続して情報収集している機関投資家が多くあるという感触を持っています。

(質問要旨) エアリアルイメージング事業において、IR がなかなかされていないと思います。PR 発信は行われているが、IR としての開示が見られない。IR を通して PR 活動を行っていただきたいと思っています。

(回答要旨) ご意見ありがとうございます。IR と PR はともに大変重要だと考えております。ご指摘の IR は東京証券取引所を通しての適時開示ということだと思いますが、適時開示規則に則った IR はもちろんしてまいります。PR のための IR は出来ないのが実情であります。今後も IR・PR 共に適切に行ってまいります。

(質問要旨) 広島企業であるアスカネットのプレートがなぜ広島市内の病院とかスタジアムとか駅とかに使われていないのでしょうか。会社にとっては損かもしれないが、例えば、寄付のような形で人目に触れる所に置くことは出来ないのでしょうか。

(回答要旨) 全国的に様々なお話をいただいておりますし、その中には数多くはありませんが、広島の案件もあります。特に医療現場や飲食店のニーズが高いのでしっかりと営業してまいります。我々は見えていただくのが重要なので、効果との比較にはなりますが、寄付という選択肢も考えられると思います。

(質問要旨) エアリアルイメージング事業の情報開示について電話で問い合わせることもありますが、なかなか個別案件のお話を聞くことができません。それは理解できます、言いたいけど言えないのか、それとも言う気がないのかどちらなのでしょう。

(回答要旨) 我々としてはもちろん色々な情報をお知らせしたいと思っておりますが、相手様に迷惑をかけてまで言うことは出来ないし、守秘義務を守らなければならないという制約があることをご理解ください。

(質問要旨) 相模原の技術開発センターの場所が非開示としているのはなぜでしょうか。

(回答要旨) まだ研究開発段階ですので、機密情報が数多くあります。また、専門人員を技術開発業務に専念させるため対外的な対応をせずに済むようにしたいと思っているためです。

(質問要旨) テレビメディアに取り上げられているのを何度も拝見したが、それはメディア側からの方からの取材の申し込みがあったのか、それともアスカネットの方から PR したのかどちらなのでしょうか。

(回答要旨) PR 活動を行って我々からテレビメディア等に情報提供を行いました。

(質問要旨) マツダスタジアムにある看板が今期はまだ見れていないのですが、どうなったのでしょうか。

(回答要旨) 去年までと変わらずレフトポール際に看板を設置しております。今後も広島カープやサンフレッチェ広島を支援してまいりたいと思います。

(質問要旨) エアリアルイメージング事業のカラス製プレートを中国の企業に模倣されてしまったということを知ったのですが、それについてどう思われているのでしょうか。また、どう対処されているのか事業への影響があるのか教えてください。

(回答要旨) 実際に模倣している中国の企業はございまして、それに対しては法的な対応を進めております。今のところ当社に対する大きな影響は出ておりません。中国の方で当社を信頼していただく会社様も多くありますので、そちらの企業様と協力してまいりたいと思っています。

(質問要旨) 樹脂製プレートの量産について、量産化の案件を期待しているのでしょうか。

(回答要旨) 量産案件としては複数あって、3,000 枚規模の案件を目処にしています。先ほど申し上げましたようにプレートを組み込んだ製品化をするにはそれなりの時間を要します。会社としてプレートを世の中に出していくことが使命だと思っていますので、期待していただければと思います。

以 上